

光が丘地域包括支援センター新聞

T179-0072 東京都練馬区光が丘二一九一六

電話：〇三―五九六八―四〇三五

十月二十日(水)午後二時から旭町北地区区民館で

「認知症サポーター養成講座」と「N-impro(ニンプロ)」を実施いたしました。二〇名以上の方が参加され、質疑も活発におこなわれました。民生・児童委員、地域の住民など様々な方が参加されました。「認知症サポーター養成講座」は認知症の人が住み慣れた家で安心して暮らし続けられるようにするために、認知症の理解を深めてもらうことを目的に、各地で行われています。N-impro(ニンプロ)は、もし自分が認知症の家族・友人、コンビニ店員、宅配配達員等の立場だったら、認知症の方とかわったときにどう対応するかを参加者それぞれが考える、ゲーム形式のワークです。グループでの意見交換で様々な気づきが生まれます。

【参加者からの声(一部)】

- ・ 高齢者施設で仕事をしているので窓口対応など活かしたい。
- ・ 母が認知症と診断されたので勉強になりました。
- ・ 知り合いや子ども達にも知らせたい内容です。

N-impro の体験例



① 何人か集まってグループで行います。

あなたは コンビニ店長



真夜中に60歳位の女性が来店。よく見ると裸足で顔に見覚えはない。店内を一周した後、何も買わずにフラフラと出ていこうとする。

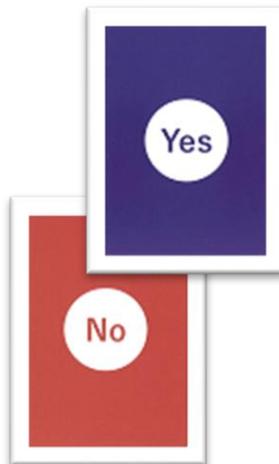
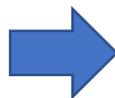
Q 声をかけてみる？

Yes

声をかける

No

声をかけない



②あなたならどうしますか？Yes か No を選択します。
正解はありません。

③多数決で多い方に上記のカードを配ります。YES/NO の理由を意見交換します。